


弓削高等学校
<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>

**夢に向かって突き進め！
令和元年度卒業証書授与式**

3月1日(日)に令和元年度第71回卒業証書授与式を本校体育館で挙行了。コロナウィルスの感染拡大予防のために、やむなく規模を縮小しての実施となりましたが、今年度は25名の生徒が思い出の学舎を後にしました。



式後、教室にて最後のホームルームを実施していると、在校生からサプライズで歌のプレゼ

ントがありました。卒業式に参加することが叶わなかった在校生ですが、何かしらの形で卒業生に感謝を伝え、祝福したいと企画したそうです。



在校生による送辞



卒業生による答辞



生徒たちは少人数であるが故に絆を深め、充実した学校生活を送ることができました。今まで卒業生を支えていただき、本校の教育活動に御助力いただいた皆様方、本当にありがとうございました。

**令和2年4月からの
島親募集！**

休日に食事等の面倒をみていただける方を募集します。

連絡先 ☎ 77-2021
弓削高校 教頭 大塚

上島の遺跡 18


切石山(福山市内海町横島)から望む島々
(手前:百貫島、後方左:高井神島、後方右:豊島)

教育課
学芸員 有馬啓介



昭和30年頃、オート三輪にいっぱいの荷物を積んで、里山が広がる田舎に2人の姉妹とその父親が引っ越してきました。姉は小学校に通っていますが、幼い妹は家で父親と過ごしています。「お化け屋敷」に住むことが子どもの頃からの夢であった父親は、遊んでいる子どもを気にしながら難しそうな書籍で溢れた部屋で執筆活動をしています。父親は、時々大学で考古学を教えているようです。これは、日本を代表するアニメのシーンです。私が学生の頃、友人がこの父親のような父親になりたいと言っていたことを最近になって思い出しました。

リチウムイオン電池を開発した功績で令和元年12月にノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏は、学生時代に考古学研究会に所属し、遺跡の調査に熱中した横顔を持っています。そして、開発事業による消滅の危機にあった遺跡の保存活動に

遺跡と未来

も取り組まれたようです。

新聞やテレビにも取り上げられ、華やかに見える遺跡の調査ですが、実のところ、その解明には地味で地道な不断の努力が必要とされます。吉野彰氏が実験と遺跡の発掘調査の手法に共通する点が多いことを指摘されていました。また、歴史の過去から現代に至るまでの流れを読み解くことで未来が見えてくるとも語られています。遺跡とは、「地球上に残る過去の人間活動の痕跡」とされています。遺跡の調査は人類史を解明するためのものですが、その成果は未来に生きる私たちの何らかの道標となるでしょう。

間もなく生名島と岩城島を繋ぐ岩城橋が完成します。現代は車社会となり、道路が生活に欠かせないものとなっていますが、かつては海が人・モノ・文化を運ぶ大動脈でした。遺跡は、そのことを雄弁に語っています。(おわり)


弓削商船高等専門学校
<http://www.yuge.ac.jp/>

情報工学科の優秀な学生を表彰
情報工学科の優秀学生表彰

2月7日(金)、令和元年度情報工学科優秀学生表彰を実施しました。情報工学科では1~4年生を対象に、顕著な成果をあげた学生を表彰する制度を設けています。



この賞は、成績や資格取得などの学業、クラブや学生会などの課外活動、人格、授業や学校行事に取り組む姿勢を総合的に評価し、他の学生の模範となる者に授与されます。今年度の受

賞学生は以下のとおりです。

【最優秀学生賞】3年 中神 悠太
【優秀学生賞】1年 長畑 桜弥
2年 原 楓子
4年 旗手菜々子

退任式・終業式を実施

2月7日(金)、退任式・終業式を実施しました。退任式では退任される3名の先生が紹介され、石田校長から慰労の言葉と、退任される先生方からの挨拶が行われました。学生達は別れを惜しみ、これまで過ごしてきた日々への感謝を感じているようでした。

終業式では石田校長より挨拶が行われ、3つの心にとめておくべきこと

①やるべきことはしっかりやる

②コミュニケーションを相手と
じかにとって思いを感じる
③何事にも向上心を持って取り
組む

これらを思い出して、これからも心掛けるようにと述べました。表彰伝達や教務・学生主事からも連絡があり、退任式・終業式は終了しました。本日をもって授業も終了し、多くの学生は約2ヶ月の春休みに入ります。


島おこし協力隊活動報告

こんにちは。ゆめしま未来塾の中裏です。気温も少しずつ上がり、春らしい気候となってきました。桜も少しずつ花を開き、町を少しずつ彩り始めています。春は出会いと別れの季節。ゆめしま未来塾にも多くの出会いと別れが訪れています。

塾設立当時に1年生だった生徒たちが卒業。式には参列できませんでしたが、少しあどけなさが残る生徒たちが凛とした顔つきで巣立っていく姿を見ることができ、感動もひとしおでした。そして設立から今まで一緒に講師として活動してきた跡見さんが3月末で島おこし協力隊を卒業していきました。私たち公営塾の取組みは協力隊の任期とともに講師は入れ替わりますが、「公営塾」の取組みは続いていきます。活動の何もかもが0からのスタートで、

酸いも甘いもともに経験してきた戦友の跡見さんや生徒たちが去る姿を見て、去った人たちが、ふと帰ってこられるように、しっかりと公営塾の取り組みを守らなければ強く想いました。

少しでも多くの方に我々の存在を知ってもらい、取組みをしっかりと守っていきたくと考え、協力隊の西尾さんとともに3月中には島おこし協力隊の活動報告会を実施予定でしたが、今回は残念ながら延期に。これからは地域の皆さんに馴染みのある存在になり地域に貢献できるように報告会などの機会を少しずつ増やしていきますので、その際は、ぜひみなさんご参加ください。

別れがあれば出会いあり。4月からは新しい講師が塾にやってきます。次はどんな花が咲くのか。ゆめしま未来塾の次の彩りをお楽しみに。



卒業・卒塾した3年生

島おこし協力隊
中裏 修平